

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

西会津町「百歳への挑戦」健康のまち再生計画

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県耶麻郡西会津町

## 3 地域再生計画の区域

福島県耶麻郡西会津町の全域

## 4 地域再生計画の目標

### 「地域の特性」

西会津町は、福島県の北西部に位置し、周囲は東に喜多方市・会津坂下町、南に柳津町・金山町、北及び西は新潟県の阿賀町に接している。

面積は 298.13km<sup>2</sup>で、その 86%を森林が占める山間地帯の集落散在型の山村で、北には福島・山形・新潟の三県にまたがる飯豊連峰があり、豊かな自然に恵まれた町である。気候は日本海型に属し、夏は高温多湿で、冬は降雪が多く特別豪雪地帯に指定されている。

産業は、このような立地条件から特色あるものが少なく、農業が基幹産業となっている。

人口は 8,230 人（平成 17 年国勢調査速報値）で平成 12 年に比較すると 9.3%の減となっており、また、高齢化率は 39.8%（65 歳以上老年人口割合、平成 17 年 9 月 1 日現在）で、平成 12 年（国勢調査）に比較すると 3.9%の増となっており、福島県の 22.5%と比較しても 17.3 ポイント高く高齢化が顕著な状況である。

本町は、かつて日常の食生活などが原因（平成 5 年栄養調査結果：塩分摂取量が多く、カルシウム・たんぱく質の摂取量が少ない）で脳卒中・胃がんによる死亡率が高く、また、骨粗しょう症も多く、昭和 60 年の平均寿命は男性が県内 90 市町村中 88 位（73.1 歳）、女性は 69 位（80.0 歳）と長生きのできない町であった。

### 「平均寿命の延伸」

このため本町では、「すべてにやさしい健康のまち・にしあいづ」を基本理念とし、「百歳への挑戦」をスローガンに保健・医療・福祉が連携したトータルケア体制の構築に向けて医療体制の確立、特別養護老人ホーム・老人保健施設・温泉リハビリプールなどの福祉施設の整備を進めるとともに、各種検診や健康教室・相談の強化・充実、女子栄養大学の指導に基づく食生活改善の推進といった生活習慣病予

防対策の強化、また、在宅福祉の強化・充実など各種施策に積極的に取り組んできた。

さらに、ケーブルテレビの整備による在宅健康管理システム（自宅で毎日の健康状態をチェックし医師や保健師から必要な助言指導を受けることができる）の導入や健康情報番組の放送などにより疾病の早期発見と予防に努めてきた。

また、健康をキーワードにまちづくりを進めていることから、農業分野においても「健康な体は健康な食べ物から・健康な食べ物は健康な土から」という考え方に基づき「健康な土づくり」によるミネラル野菜の普及拡大を重点的に推進してきたところである。

このような取り組みの結果、脳卒中の既往率が低下し、本町の平均寿命は男性が77.6歳と県平均を上回り全国平均に近づいており、女性は84.1歳と平均寿命が伸びてきている。

### 「新たな課題～健康寿命の延伸～」

しかしながら、平成15年に行った生活習慣と健康に関する調査結果から平成5年の調査に比べて脳卒中を引き起こす高血圧症が増加、糖尿病の増加、肺がんによる死亡の増加、生活上一部介助が必要な虚弱高齢者が増加していることが判明し、これまでの取り組みにより平均寿命の延伸という成果が現れた一方、「健康寿命の延伸」という新たな課題に取り組む必要が生じた。

このような状況を踏まえ、本町では平成15年から健康で百歳を迎えるための健康寿命延伸事業に着手している。具体的な取り組みの柱は、高齢者の冬期間などにおける運動の推進、肥満解消、高血圧症・糖尿病・肺がん・骨粗しょう症予防で、これまでプログラムの策定や各種教室・講座を行ってきた。

今後、高齢者の運動機能低下、高血圧症・糖尿病・肺がん・骨粗しょう症予防といった新たな課題を含め、介護予防・予防医療をさらに推進し、高齢者がいきいきと暮らせる町に地域再生を図るためには、老人保健健康増進等事業を活用し、東北大学や東北福祉大学、近畿大学との連携を図り、取り組む事業の開発や事業の普及拡大が不可欠である。

このようなことから、本地域再生計画を策定し、介護予防・予防医療のための事業を積極的に推進していく必要がある。

### （目 標）

- ・健康運動推進のための講座 3講座新規開設
- ・健康運動推進のための事業プログラム、教室カリキュラムの策定 各1件
- ・骨粗しょう症疫学調査 調査数734人（平成8年調査受診者の70%[受診率]）

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

本町は、「すべてにやさしい健康のまち・にしあいづ」を基本理念とし、身体や心の健康だけではなく、産業、教育、環境など、すべてにおいて「健康」を基調とし、施策を進めている。

この基本理念のもと、高齢者はもとより、町民の誰もが生涯にわたって健康で過ごすことができるよう健康寿命の延伸のため生活習慣病予防の知識の啓発普及、生活習慣改善の実践と地域組織の育成・活動支援、在宅健康管理システム事業、検(健)診事業の充実、介護予防、さらに、健康な土づくりによるミネラル野菜栽培の普及拡大に向けた事業を展開し、総合的な健康づくりを推進し、活力ある健康の町への再生を図る。

#### [事業内容]

生活習慣病予防の知識の啓発普及

健康教育・糖尿病予防事業・家庭血圧測定事業・禁煙教育の実施、ケーブルテレビ健康情報番組の放送

生活習慣改善の実践と地域組織の育成・活動支援

食生活改善推進員の育成研修・健康運動推進員の育成研修・保健指導員研修、個別健康教育の実施

在宅健康管理システム事業

システムの効果的な活用と保健指導の充実、高血圧予防教室の実施

検(健)診事業の充実

検診対象年齢の引き下げ、働き盛り検診の実施

介護予防

貯筋運動教室・介護予防教室・温泉リハビリ教室・A型機能訓練(65歳未満)・はつらつリハビリ教室(65歳以上)の実施、骨粗しょう症疫学調査の実施

健康な土づくりによるミネラル野菜栽培の普及拡大

土壌診断料の助成、土づくりの現地指導会等の開催、耐雪型パイプハウスのリース

### 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

無し

### 5 - 3 その他の事業(重点事業)

- 5 - 3 - 1 「高齢者活力創造」地域再生プロジェクトの推進 B0901  
老人保健健康増進等事業

一般高齢者の生活体力向上及び閉じこもり予防を目的とし、地域住民組織の育成と、効果的な介護予防が実施可能な健康運動推進等の事業プログラム及びカリキュラムを東北大学及び東北福祉大学との連携により構築し、事業を実施して健康運動の普及拡大を図る。

また、骨粗しょう症疫学調査を近畿大学との連携により実施し、町民の運動・栄養・休養の実態を把握するとともに高齢者のリスク管理を踏まえて事業の評価を行う。

#### [事業内容]

- ・健康運動推進員レベルアップ研修会の実施
- ・健康運動推進員組織育成研修会の実施
- ・健康運動推進員による元気アップ教室の開設
- ・上記元気アップ教室の事業プログラム・教室カリキュラムの策定
- ・骨粗しょう症疫学調査の実施

### 5 - 3 - 2

老人保健健康増進等事業を活用するほか、「百歳への挑戦」健康のまち再生計画を達成するため、以下の事業を一体的に行うものとする。

#### ・在宅健康管理システム事業

本システムは、ケーブルテレビ回線を活用して自宅にしながら血圧・脈拍・心電図などの測定ができ、その測定データは町保健センターのホストコンピュータに自動的に送信され、医師・保健師の指導を受けることができるというシステムである。

本事業は、平成6年度に開始し、これまで587台の端末機の導入を図り、検診結果が要指導・要医療等のハイリスク者の疾病の早期発見と予防のために実施していることから、今後も継続し事業を実施していく。

#### ・ケーブルテレビによる健康情報番組の放送

平成9年2月に開局した町ケーブルテレビを活用し、自主制作による健康情報番組と食生活改善のための番組をそれぞれ月1回放送し、予防医療のための積極的な情報提供を推進しており、今後も自主番組の制作による放送を継続して行い、健康運動の普及拡大を図る。

#### ・健康な土づくりによるミネラル野菜栽培の普及拡大

本町では、健康な土づくりからのミネラル野菜栽培を奨励している。これは、まず科学的な土壌分析により土を知ることから始め、その結果に基づいて不足し

ているものは補い、過剰なものは控えるなどの処方を講じ、土を健康にし、そして、できたミネラル豊富な野菜を食べて健康な体づくりを推進していくという取り組みである。

具体的な事業は、土壌診断料の助成、土づくりの現地指導・相談会の開催、耐雪型パイプハウスのリースによる冬作の支援などであり、今後も町の産業振興・高齢者の生きがい対策といった視点からも継続し事業を実施していく。

## **6 計画期間**

認定の日から平成 20 年度まで

## **7 目標の達成状況に係る評価に関する事項**

東北大学、東北福祉大学、近畿大学、西会津町の学官の関係者で構成する検討委員会等を設け、検討委員会等を開催して評価を行い、公表する。

さらに、平成 20 年には平成 15 年の生活習慣と健康に関する調査から 5 年が経過することから 5 年間の取り組みの評価検証を行うとともに評価検証を踏まえた新たな 5 年間の計画を策定する。

## **8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項**

平成 15 年に西会津町が東北大学との連携により 30 歳以上の町民を対象に実施した「生活習慣と健康に関する調査」の結果から高齢者の運動機能の低下、高血圧症・糖尿病・肥満が多いこと、また、肺がんの死亡率が高いといった実態が明らかになった。

これを踏まえて平成 15 年には「百歳への挑戦・町民大会」を開催し、町民と問題点や課題を共有し、平成 20 年における目標を設定している。

平成 18 年度はその中間年度にあっており、中間評価から平成 20 年の目標達成に向けて平成 18 年～平成 20 年までの本計画に基づく介護予防・予防医療のための事業の実施が必要になっている。